

2022.5.20

塩野義製薬株式会社

澤田 拓子

<人への投資>

- 最低賃金制度のあり方の議論は重要
 - コロナ禍を経て、パートタイム労働者の処遇改善はまだまだ必要な状況
 - 地域間格差是正は現行目安制度では難しいのではないか
 - 各ランクの目安に数円の幅を持たせることや、都道府県単位となっているエリア設定の見直しなど、現行の方式にとられない自由度の高い最賃制度のあり方の議論が必要

- 人材育成取り組みは、中長期的な視点で企業が成長・存続を図るうえでは必要不可欠
 - 新しい資本主義において、人材育成といった企業の中長期的な活動ならびに人材の価値を評価する仕組み は非常に重要
 - 人材の成長が企業ならびに社会の成長の源泉であるが、COVID 下で本人あるいは家族にメンタル障害、認知障害を抱える方の比率が上昇してきており、将来を考慮するとその対策も重要

- キャリア設計を自ら行える若者の育成が必要
 - 国が重点的にサポートする分野、必要な能力を明示することで自己実現に向けた学習を促すことができるのではないか

- 日本では欧米と比べて HR 領域の専門教育を受ける機会が少なく、企業内においても人事プロフェッショナルを育成できていない
 - 海外の事例をふまえて、大学での HRM などのカリキュラム提供の拡充なども重要

以上